

# ビオトープ計画技術



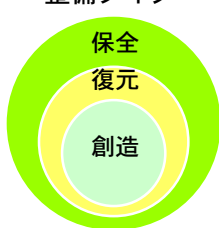
その場所に特有の生物が生息する空間の計画技術

## お客様のメリット

- 生物に触れる楽しい場所として、心の安らぐ空間を創造することができます。
- 環境への配慮の一つとして、生物の共存を表わす有意義な土地利用が可能です。

## 技術の特徴

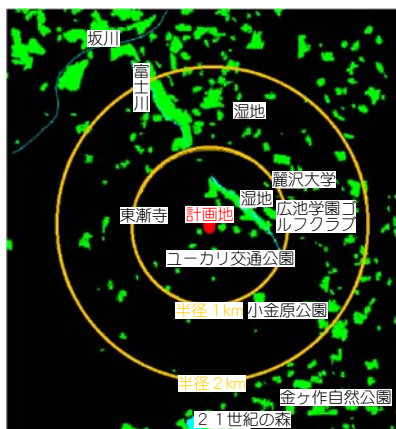
ビオトープの整備タイプ



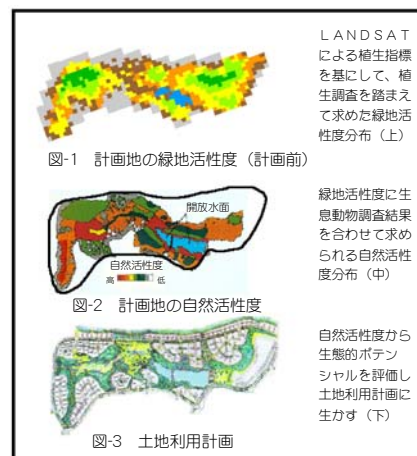
- ビオトープネットワーク形成のための調査・分析
  - ・人工衛星が観測したリモートセンシングデータを利用し、緑地の植生指標を求め計画地の緑地活性度を解析
  - ・生息動物の調査を行い種数を指標として評価
  - ・緑地活性度と生息動物指標を合わせた自然活性度により、緑地を分析評価
  - ・分析に基づき生態的ポテンシャルを判断し、ネットワークを計画

### ■ビオトープの整備方針

- ・まず現存する環境を「保存」することが可能か考えます。
- ・次に「復元」や移設をしながら育成の方策を検討します。
- ・最後にビオトープを新しく「創造」する手段を講じます。



広域の生態環境調査・分析



計画地内の生態環境分析と計画

## 実績・事例



### ■百合が丘ニュータウン環境共生住宅地・公園緑地

溜池と谷戸の生態系を保全・活用しつつ、人が生物に身近に触れられる空間と生物の繁殖を図る空間を創出



### ■エコビレッジ松戸

周囲に比べて低い谷津の地形の中に、まわりの自然との関わりを積極的に取り入れる